

令和6年3月4日

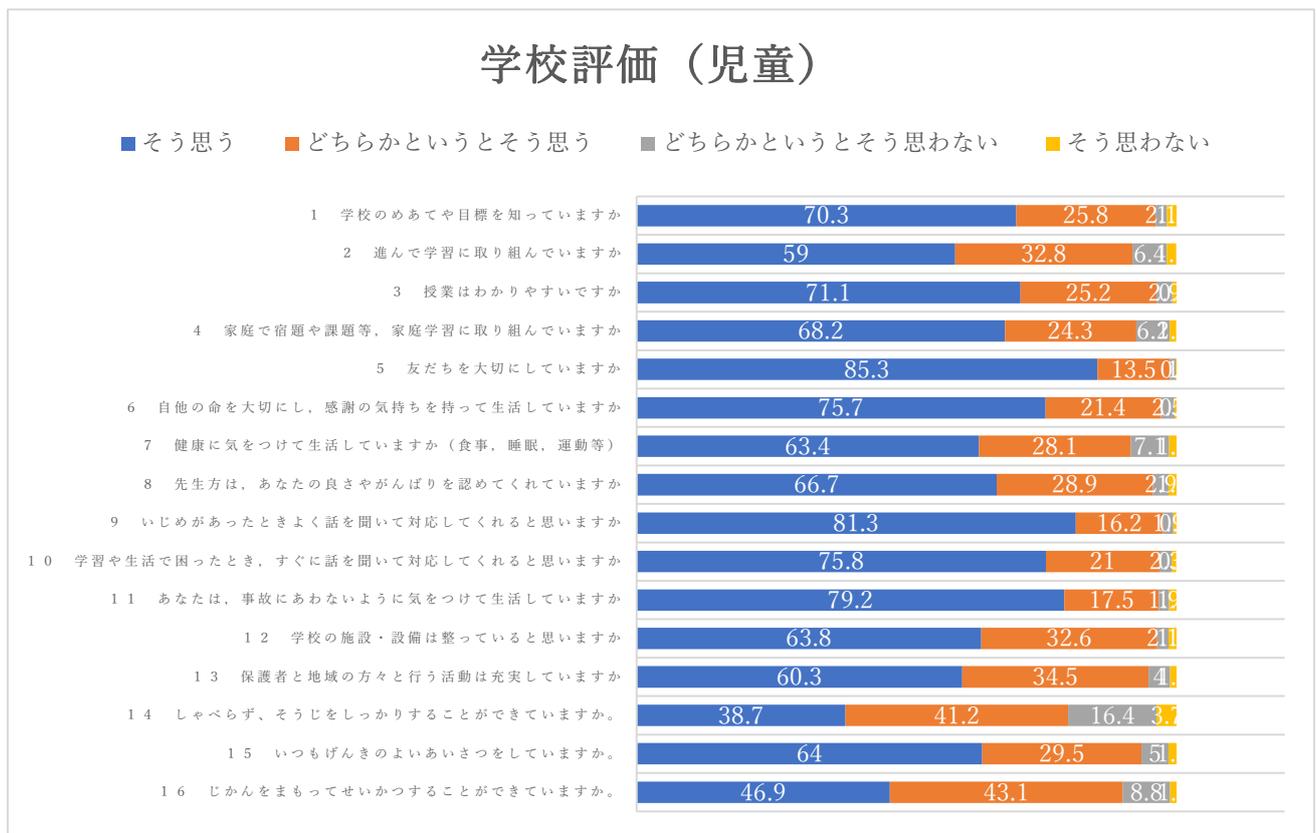
保護者様

印西市立木刈小学校

校長 門脇 英貴

令和5年度 木刈小学校 学校評価について

過日実施しました「学校評価」の結果をお知らせします。本年より、市共通の学校評価項目に加え、学校教育目標に関わる2項目を追加して調査をしました。皆様からの貴重なご意見を次年度の教育活動に生かしてまいりたいと思います。



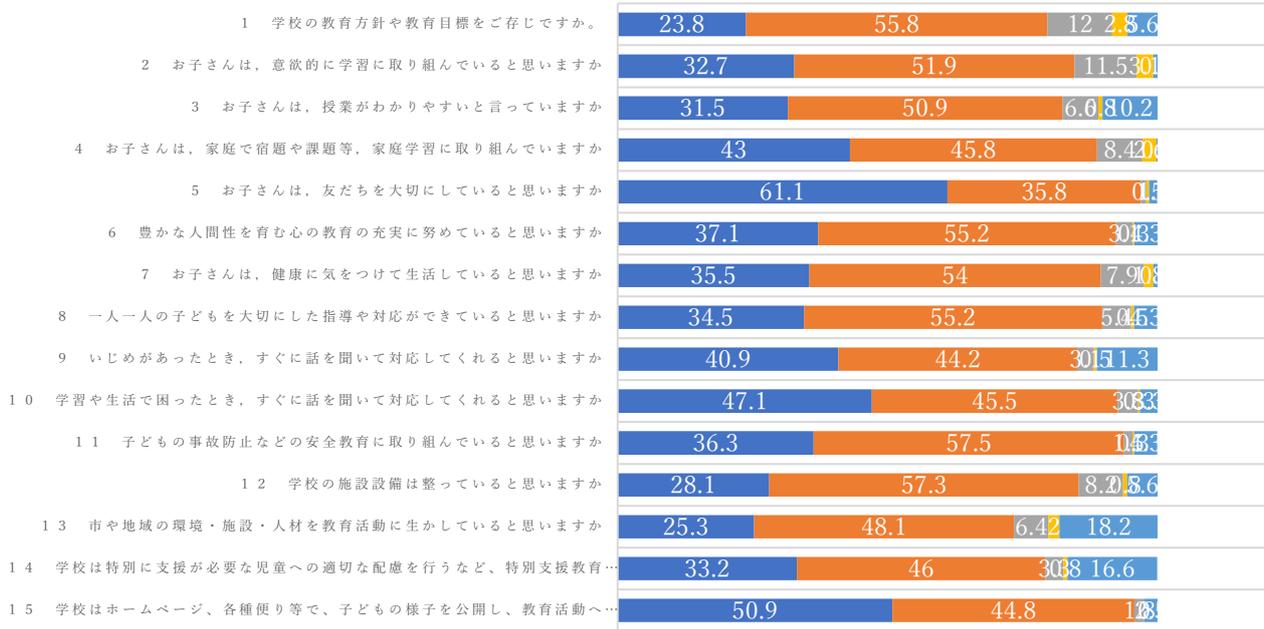
<児童の回答より>

13の設問中、7つの項目（設問1、4、8、9、10、12、14）について昨年の数値より向上しました。特に設問12の学校施設、設問13の保護者や地域の方との活動については5～6%の上昇が見られました。設問12の学校施設について、今年は4年生以上の教室の大型テレビが壁掛けになったこと、ICT機器の活用が進んだことなどが要因として挙げられます。また、設問13については各学年とも外部指導者の体験授業（各種教室、タグラグビー・ボッチャ体験など）や、体験活動（和太鼓、琴体験）が多く入ったことも要因として挙げられます。

その他の項目についても肯定的評価が90%を超えています。「頑張りを認める」「よく話を聞いてくれる」ことについてもそれぞれ95.6%と高い結果が出ていますが、さらに高い児童の信頼を得られるよう、細やかな配慮ができるようにしていきます。

学校評価（保護者）

■ そう思う ■ どちらかというと思う ■ どちらかというと思わない ■ そう思わない ■ 無回答



<保護者回答より>

ほぼ、昨年と同様の評価となりました。設問1の「学校の教育方針や教育目標をご存じですか」という項目はここ数年80%で推移しており、今後も周知が必要な項目となっています。

今回、数値を落としたのは設問7の「お子さんは健康に気をつけて生活していると思いますか」です。コロナ対応が終わり、今までの厳しい感染症対策から解放されたこともあります。ご家庭でも感染対策について心配されていることがうかがえます。ここ数年罹患者がほぼゼロであったインフルエンザが猛威を振るい本校でも学級閉鎖が多く実施されたことを考えると、今まで同様の高い意識を持った感染症対策が学校でも必要であると感じます。

設問8、10の「一人一人の子どもを大切にした指導」「学校や生活で困ったときの教師の対応」では、90%近い肯定的評価をいただきました。設問9の「いじめがあったときの対応」は85%であるものの、昨年より2ポイント程度の上昇が見られます。今後も担任だけでなく、組織として児童に寄り添った指導ができるよう改善を進めていきます。

設問13については、コロナ対応の終了とともに、学校でも外部人材の活用を進めてきました。今年は数値が大きく改善したものの、いまだ評価としては70%台と他の項目に比して低い評価となっています。学校での活動の広報も含めて、さらなる外部人材の活用を考えていきたいと思えます。

最後に、今年2つの設問が新設されました。設問15「学校はホームページ、各種便り等で、子どもの様子を公開し、教育活動への理解を深めていると思いますか。」のHPについては皆さんより非常に高い評価をいただきました。今後もよりよい情報発信の場として、保護者と学校を結ぶツールとして活用を進めていきます。

今後も本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。